

HATS TIMES

HONDA AUTOMOTIVE TECHNICAL SCHOOL

学校法人ホンダ学園
ホンダ関西自動車整備専門学校

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 六角屋 雷太

ホームページ
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

iモード、J-SKY、EZweb
<http://ajtw.jp>

1年生 販社訪問

プロの仕事学ぶ



サービス工場を見学

今年5月16日～6月3日の間、計6社11販売拠点にご協力を頂き、学生と先生で訪問・見学をしました。

多くの学生が整備士を目指しますが入学後の早い時期に訪問を行い、販社の仕事の内容を知った上で学校の勉強に取り組むことにより、より深い理解度やモチベーション向上に繋げることが目的です。

販社様では企業の経営理念から業務の進め方等の説明を頂き、その後販売・サービスの現場を見学させて頂きました。

現場を目の当たりにし、学生たちは「企業とはどのようなものなのか」、全ての活動・業務が「お客様第二」で行われていること、又スタッフの明るくキビキビとした行動に自分達が求められているものをつかむことが出来ました。

販社訪問後、将来の姿を常にイメージしながら学園の勉強に前向きに取り組み姿勢が見受けられるようになりました。



自動車整備科 1-2 岩崎 泰士

Q 実際に販社を訪れた感想は?

僕たちの将来の仕事なので、すごく興味がありました。単に車を直しているだけでなくお客様のことを第1に考えて動き、気持ちの良い整備をしているのがよく分かりました。

Q プロの仕事を見た感想は?

学校にいるお客様というものをなかなか身近に感じる事が少ないのですが、プロの方は直接お客様と接するということがあり、お客様のクルマを直すことに対

して真剣に取り組んでいるということを実感しました。

Q 一番驚いたことは?

工具を大事にしているのと整備整頓がきちんと出来ていることに驚きました。

Q 将来どんな整備士になりたいですか?

常にお客様の気持ちになって、挨拶も含めて基本的なことをきちんと確実に出来るような整備士になりたいです!



(株)ホンダクリオ近畿 風営業所 本多 明広 所長

ホンダ学園の皆さんはいつも元気な声で挨拶をしてくださいます。挨拶はその人の第一印象を決定づけてしまうほど大切な事だと思っています。私達もお客様をお迎えする時は常に明るく笑顔で挨拶を忘れず心がけています。

さて、学生の皆さんは実際にショールームやサービス工場を見学されてどのような印象を持たれたでしょうか?どんな環境の中で仕事が出来たのか、何を聞いたらいいか?こんなこと聞いているのか?顔で遠慮がちなような気がしました。せっかくの機会ですからとどんどん何でも質問をぶつけて下さい。

今、我々を取り巻く市場環境は相変わらず良いとは言えません。

そんな時代にどうやってお客様を守り増やし拠点の経営を確固たるものにできるでしょうか。新車の売れ行きは上がっていますが下がり先が読めません。今拠点の経営を支えているのはサービス収益であり、サービスのしっかりとっているポイントはお客様は増え続け収益も上がっています。「あの店は車を買ったあと安心だよ」とお客様に言ってもらえるだけでお客様の輪は広まり増やしていくことが出来ます。そんなようなポイントはお客様が賑わい明るい笑顔と気持ちの良い挨拶が飛び交うことですよ。

ホンダ学園の学生の皆さんはそんな視点づくりに一躍を担っていく仕事を目指していることと思います。多くの方は将来サービススタッフになられたり、ホンダ車と関わりのある仕事に就かれると思います。ますます学園の中で勉強に励み希望と自信を持って将来、社会へ飛び出し活躍されることを期待しています。

新学科! 自動車研究開発科 2006年開講

ホンダ学園関西校は、3年制で定員が40名の新学科「自動車研究開発科」を2006年4月に開講します。

この新学科は、自動車業界で幅広く活躍できる人材の育成を目指します。フォーミュラSAE参戦を軸に、企画・設計から競技参加まで学生が自ら推進することで、専門知識のみならずプロジェクトの進め方やチームワーク等を身に付けます。

フォーミュラSAEを企画・設計する上で解らない事を学んで学び、又逆に学科で学んだ専門知識をフォーミュラSAEで活かす事で、生きた知識となります。

生産プロセスやコストについても学びます。ホンダ関連企業との協力を得る生産現場の勉強や企業実習も行う予定です。更に、世界に羽ばたく技術者として英語の勉強も欠かせません。

2級自動車整備士の受験資格等の資格を取得し、卒業後は、モノづくりに行う自動車業界の研究開発部門、生産技術部門、品質管理部門などで活躍します。詳細は当校ホームページをご覧ください。



企画・設計風景 溶接もします テスト走行風景

「夢・清潔・未来・技術・先進・意欲・自覚・誇り・調和・憧れ・希望...」

ホンダ学園設立30周年に向け学生ユニフォームのデザインを刷新しました。新しいユニフォームは学生らしさの中にも整備のプロフェッショナルを感じさせ、また夢・清潔・未来・先進を感じさせるため白を基調に紺色のアクセントを施したものとしました。特に二級課程は更に誇りと他の学生の憧れとなるよう黒と赤の引き締まったユニフォームとしました。学生全員が新デザインのことを自覚し何事にもチャレンジして欲しいと確信しています。

今年度は採用試験の早期化と各企業様のご支援による採用人数の増加で、前年より良いペースで就職状況が推移しておりますが、県によっては学生数が求人よりも上回っている所があり、楽観出来ない状況と言えます。今後は更なる求人依頼・新規企業の開拓等を強力に進めていきますので、各企業様、保護者の皆様には引き続きご支援ご協力頂きますようお願いいたします。

リニューアルされた就職相談室

新校舎の落成に合わせて、就職相談室も明るく、開放感のある部屋にリニューアルされました。会社内から求人票・試験日程などの情報収集から、インターネットを使った企業研究、就職情報検索など就職情報が満載の部屋となっています。又、専任の職員が昼休みも含め1日中常駐して学生のアドバイスにあたっています。

2年 就職活動状況

「いよいよ追い込み真只中」

2年生の就職活動がいよいよ追い込みの真只中となって来ました。

7月14日現在で内定率が79%（昨年同時期は72%）となり、残り74名の学生が「夏休み中には決めるぞー」との意気込みで企業研究会社訪問と活動しています。

今年度は採用試験の早期化と各企業様のご支援による採用人数の増加で、前年より良いペースで就職状況が推移しておりますが、県によっては学生数が求人よりも上回っている所があり、楽観出来ない状況と言えます。今後は更なる求人依頼・新規企業の開拓等を強力に進めていきますので、各企業様、保護者の皆様には引き続きご支援ご協力頂きますようお願いいたします。

この度、念願の国家一級小型自動車整備士の資格を取得することが出来ました。筆記試験の取り組みでは、二級試験の回数も少なく過去問の勉強が殆どなためテキスト全般を理解するのは大変時間が掛かりました。口述試験では今回取得された先方と何度も練習に取り組みました。独学の口述対策では合格しなかったかも知れませんが、受験される方は筆記試験では電装系の復習し、口述試験では会話力の取得に努力してください。今後は今回得た知識を学生の皆さんに波及出来るように頑張りたいと思います。

電装単元 藤浦 常和

この度、念願の口述試験に合格することが出来ました。筆記試験に合格してからは、口述試験に合格することから、なかなか口述試験に合格することが出来ずこれで終る頃に、奮起し臨んだ試験でした。前回とは全く違うような発表まで何とも言えない気持ちでしたが、合格の発表を見て、良かったとホッとしました。今後は一級自動車整備研究科生登録試験100%合格を目指してこれまで以上に頑張っていく事が目標です。

電装単元 寺尾 典篤

現代自動車の新技術の進化は目覚しく、それらに対応できる整備技術などを学び取る必要性を感じ、国家一級小型自動車整備士資格にチャレンジしました。

これからは一級自動車整備研究科の皆さんへ、筆記試験においては慌てないで時間配分を工夫できるように努めてください。口述試験では思考時間もしっかり問題を読み理解し問診などの準備をして少しでも試験中に落ち着いて対応できるようにしておきましょう。

「何としても合格するんだ」と最後まで諦めないで食いつかる粘り強さを武器に頑張ってください。

電装単元 瀧尾 昌弘

この度、国家一級小型自動車整備士の学科試験（筆記・口述）に合格することが出来ました。

この度、国家一級小型自動車整備士の学科試験（筆記・口述）に合格することが出来ました。

エンジン単元 別所 和彦

インターンシップ

一級へ向けて



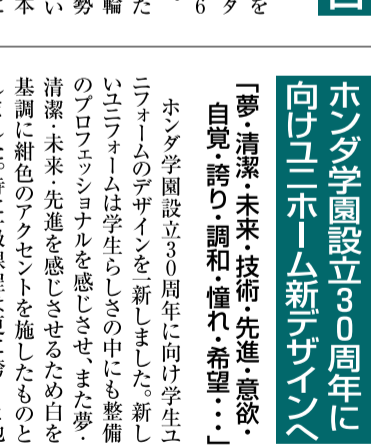
一級整備士研究科 西原 孝昌

現在の自動車はほとんどが電子制御であり、これから先は更に電子制御の高度化が進みます。それに対処するために我々一級整備士課程では電子制御に対応する技術、新しい自動車に使われた最新の技術、環境を考えた廃棄物の廃棄方法、冷媒、タイヤ、バッテリーの適正処理などを学んでいます。

一級整備士を取得するために200時間の企業実習が義務付けられており、7月7日から始まる販売会社での実習では実際の作業を通じて現場の雰囲気を知ることにも学校では学べない現場のノウハウを学び、整備士として技術向上を目的に取り組みたいと思っております。また、一級整備士は口述試験もあるため、先輩方の整備説明などを聞き口述試験対策の参考にしたいです。

安全運転講習

乗車マナーの再認識



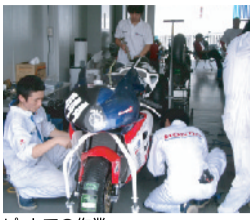
実車を目の前にして講習を受けます

6月から始まる1年生の車両持込を前に、鈴鹿サーキット安全運転教育センターのインストラクター様にお越し頂き、6月10日(金)に講習をして頂きました。

今年度は昨年と違い、新校舎が完成したので、校庭を使用して、バイク3台と4輪車1台で、基礎的な乗車マナー・乗車姿勢や乗車前点検の重要性の再認識を行いました。広い校庭で、特に、4輪車の基本のマナー・点検を覚え、11月・12月に行われる、安全運転講習の基礎的な勉強が出来ました。

国家一級小型自動車整備士 資格を取得された先生

この度、念願の国家一級小型自動車整備士の資格を取得することが出来ました。筆記試験の取り組みでは、二級試験の回数も少なく過去問の勉強が殆どなためテキスト全般を理解するのは大変時間が掛かりました。口述試験では今回取得された先方と何度も練習に取り組みました。独学の口述対策では合格しなかったかも知れませんが、受験される方は筆記試験では電装系の復習し、口述試験では会話力の取得に努力してください。今後は今回得た知識を学生の皆さんに波及出来るように頑張りたいと思います。



ヒットでの作業



応援ステッカー

今年も二輪整備同好会のメンバーがチーム「ウィダーホタテ学園DDBOYS」としてFIM2005世界選手権シリーズ第6戦「コカ・コーラ」鈴鹿8時間耐久レース(7/28~31)に参戦することが決定！マシンはCBR1000RRを使用し、ライダーは現在「DDBOYS」からJSB1000チームに参戦している浜口俊之選手と同じくJSB1000でチーム高武RSCで活躍中の森脇尚護選手の2名で挑みます。昨年は3位という結果を残しているだけに今年のレースは大注目！その様子を本報のホームページでも7/28の予選から7/31の決勝まで写真・動画やラップタイムデータ等のチームリポートを現地から行います。また今回「ウィダーホタテ学園DDBOYS」の応援ステッカーも製作致しました。ゼッケンNo.044とチームカラーである赤・青・白を基調としたデザインとなっています。みんなで8耐盛り上げていきましょう！ご声援よろしくお願いたします！



鈴鹿300km耐久ロードレース作業風景

7/28~31
真夏の祭典「鈴鹿8耐」に
チームメカニックとして参戦!
 その様子をホームページでも
 ライブリポート

「鈴鹿8耐」前哨戦

“Road to 8hours”

鈴鹿300km耐久ロードレース

予選:22位
 決勝:フィニッシュライン不通過

鈴鹿8耐の参戦に向け、学生たちのデビュー戦となった鈴鹿300km耐久ロードレース。

ライダーは昨年の鈴鹿8耐にて、総合3位JSB1000クラス優勝を取った浜口俊之、森脇尚護ペアを継続起用し、新たに選ばれた学生たちと挑みました。

11日(土)午前のスポーツ走行でウェットコンディションの中、2回目の走行に浜口がコースイン1周目の逆バンクで転倒。自力でピットに帰ったマシンを修理後、次は森脇がコースインするが、2ラップ目のタンクブローナーで再度転倒。ライダーに怪我はなかったもののマシンは大きく損傷し、大掛かりな修理作業となり、結果AB組総合22位の予選結果となりました。

12日(日)は天候も回復、朝のウォームアップでドライセッティングを詰め、前テストでのデータをベースにセッティングを詰め、9番手で終了。

スタートライダーは浜口。好スタートを決めた浜口は、オープニングラップを15位、3ラップ目は10位までポジションをアップ。しかし、4ラップ目のブローナー出口でハイサイドを喫し転倒。マシンは大きく破損し、浜口はスプライン出口からバイクを押し上げてピットへ。

学生たちと最後まであきらめず懸命に修理をするが、修理完了と同時にゴールとなりレース終了。

残念ながらチャッカーを受けることは出来ませんでした。本番の8耐では今回の課題を全て解消し上位完走を狙います！



カウルを修復!!

●「鈴鹿8耐」テレビ放映のご案内
 ●テレビ大阪で地上波放映決定!
 ●スカパー! & J SPORTS ライブスで放映
 ●「鈴鹿8耐2005」放映決定!
 ●スタートからチャッカーを引いた花火まで、8耐のすべてをS放送スカパー!で放送日時:
 ●2005年7月1日(日)完全生中継
 ●J SPORTS 鈴鹿8耐2005
 ●ハイライト番組 8月に放送!!
 ●ヨーロッパ各国でも、「コカ・コーラ」鈴鹿8耐の模様を放送予定。
 皆さん応援よろしくお願いたします!!

People Close Up!

安全運転大会に参加し、見事優勝と3位という結果を残した原田君と吉田君の仲良し二人組を特集しました!



自動車ビジネス科 自動車整備科
 1-1 1-4
吉田 憲史 (一般原付クラス 3位)
原田 一輝 (一般原付クラス 優勝)

◆まず最初に安全運転大会について教えてください。
 原田君(以下H) / 法規走行と技能走行の二つで行われ、日頃のバイクの運転技術や緊急時の適切な対応がどれだけ取れるかを競う大会です。吉田君(以下Y) / 自分たちの日頃の練習の結果が試される場です。一般の人と一緒に競技し、1位と2位の選手の中から全国大会の大代表として選ばれます。

◆出場しようと思っただけじゃダメですか?
 Y / いつもバイクに乗っていて普段の運転技術やマナーがどれだけ通用するかを試してみたかったからです。H / 安全運転大会を知ったのが入学する1ヶ月くらい前だったのですが、地元で練習会に参加してみても安全運転の大切さや難しさを痛感し、この学校に入学して大会に出場しようと思ったんです。

◆大会に参加してどうでしたか?
 H / 大会に参加している方はとても細かい所まで気を遣った運転をされていて勉強になりました。
 Y / 当日はとも緊張して自分との戦いでした。思った以上に上手に走って終わった時はホッとしました。バイクのお姉さんも参加していて運転もとても上手でかっこよかったです。
 ◆最後に一言。
 Y / 将来はテストドライバーの仕事に就きたいと思っていますので、これからも無事故無違反で技術を磨いていきたいです。
 H / これから乗るだろうNSR800をきちんと走れるように全部自分の手で整備します!
 P.S.もし良かったらNSR800のパーツを下さい(笑)。



エンジンを調整中

第19回 Honda エンジンパワー 燃費競技鈴鹿大会

6月18日(土)第19回Hondaエンジンパワー燃費競技鈴鹿大会が行われました。

今回は昨年と同様にライダー号とNEX号2台のマシンで参加しました。大会2週間前まではエンジン調整、オイル漏れの修理等で準備が大変でしたが、なんとか間に合うことができました。大会当日の練習走行でパワー不足のため坂を登り切ることができず調整に苦労しました。決勝では調整に手間取りました。結果はライダー号が、51.8km/Lで2位、NEX号が39.3km/Lで3位に入ることができました。記録は昨年を更新することができましたが、優勝することができなかったのが残念です。

今回の経験を活かして次の全国大会(10月1-2日)では、必ず優勝できるように頑張りたいと思います。

オフロード同好会

毎日仲間と楽しく活動しています!

オフロード同好会はジャンプやヒルクライム(舗装されていない急な坂道をバイクで駆け上がる)等のセッションを組み合わせたコースの制限時間内の周りを競う「エンデューロ」に出場することを目標に毎日活動しています。普段の活動内容はオフロード同好会の車両整備と未経験者の8の字走行やスラローム走行の練習です。また毎月一回オフロードコースで走行会を行い、個人の技術の向上とメンバー同志の交流をしています。



オフロード最高!!

New Zealand

ニュージーランドに来て感じたこと



写真一番右が佐々木君

僕が、ニュージーランドに来て早くも3ヶ月が過ぎました。第一に感じたことは、人の少ないことです。もちろん総人口は500万人もいないので当然のことなのですが、日本と比べ、みんなのびのびと生活しているような感じがします。

特に少ないと感じたのが自転車です。日本みたいに市民の足とはなっていないように感じました。仕事や趣味の環として自転車にまたがっている人が大半だと思います。ですから、みな安全対策はきちんとしています。ヘルメットをつけずに走っている人はいません。関東校から来ている中

◆防火訓練
 新校舎が出来て初の防火訓練、新館3階実習場より出火、避難放送開始、全員避難時間8分03秒でした。今回は、新校舎の火災警報システムの使用、避難訓練が不十分で一部不具合な所を発見出来ました。当日は、学生も参加して大阪狭山消防署のハシゴ車による高層避難訓練、消火器による、消火訓練が行われ無事に終了致しました。

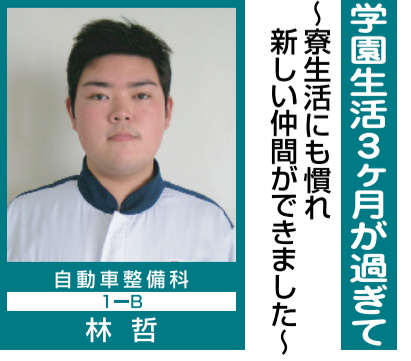
◆学生の献血協力
 昨年より20名多い献血協力
 6月1日(水)、3日(金)の両日、2年生の献血協力を実施されました。新校舎が出来て初めての献血となりました。大阪府南赤十字血液センターによると血液が不足しており、今回は学生の皆さんに400CCの献血を特に御願したいたとの要望がありました。昨年より20名多い179名の献血があり、内87.7%が400CCの献血でした。

これからのスケジュール

7月	8月	9月
●技術コンクール(15日) ●企業実習/2年生(15~26日) ●企業実習/一級自動車整備研究科2年生(7~27日) ●学校見学会(23日) ●体験実習/福岡(27日) ●二輪整備同好会:鈴鹿8耐(28~31日) ●夏休み開始(29日~)	●体験実習(2~4日) ●夏休み終了(8月22日) ●学校見学会+ミニ体験実習(28日)	●TOPトーク(21日) ●学校見学会(3・17日) ●学校見学会+ミニ体験実習(11・25日) ●期末試験/2年生(12~14日) ●期末試験/一級自動車整備研究科1年生(12・13日) ●期末試験/一級自動車整備研究科2年生(27日) ●期末試験/1年生(27・29日)

◆編集後記
 今年も鈴鹿8耐に学生がチームメカニックとして参戦することが決定しました。その様子を本報HPでもライブリポート致します。また「ウィダーホタテ学園DDBOYS」のステッカーも製作し添付いたしました。ご声援よろしくお願いたします!
 HATS TIMES 編集委員

◆保護者見学会
 参加された保護者の方からの声
 環境の変化にスムーズに適應できる心配して下さる姿に、級友と力を合わせ学校でいる姿にホッとしました。真っ白の校舎、空調完備の中で学べることに感謝して頑張りたいなと思います。
 先生方の活気ある姿や指導に感動しました。現状の説明もよく分かり元氣の出る見学会でした。後は本人のやる気にかかっていますが、信頼されるホリダマンになれるよう期待しています。
 (保護者A)
 友達と仲良く実習をしている様子を見学させていたいただいて、親として安心しました。校内も明るく清潔で、大変よい環境だと思えます。元氣な挨拶にも好感が持てました。
 (保護者B)



自動車整備科 1-B 林 哲